

「ジオパーク」ってなに？

ジオパークとは、「地球・大地 (ジオ:Geo)」と「公園 (パーク: Park)」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球 (ジオ) を学び、丸ごと楽しむことができる場所をいいます。日本には、日本ジオパーク委員会が認定した「日本ジオパーク」が三陸地域も含めて44地域あります (平成31年1月現在)。

大槌町三陸ジオパーク推進協議会を設立

三陸の大地と海と 共に生きる



三陸ジオパークは、青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して宮城県仙沼市までのエリアで、平成25年9月に日本ジオパークとして認定されました。南北約220km、東西約80kmで、その海岸線は約300kmに

大槌町のジオサイトの「今」や観光情報等は観光PR公式SNSにて随時発信中！ぜひフォローをお願いします！

Twitter: @otsuchi_PR
Instagram: @otsuchi_pr

もおよぶ日本一広大なジオパークです。三陸は、地球活動の歴史を実際に見ることが出来るジオサイトに恵まれています。町内では、「浪板海岸」「源水川 (湧水) とイトヨ生息地」「蓬莱島」の3箇所が「ジオサイト」として指定されています。平成30年9月18日 (火)、より活発的に三陸ジオパークの活動に取り組むため、「大槌町三陸ジオパーク推進協議会」を設立しました。来年の再認定審査に向けて、学校教育、地域住民や宿泊事業者等への普及活動、「みちのく潮風トレイル」との連携といった活動へ取り組んでいきます。

大槌町のジオサイト紹介

蓬莱島



町民から「ひょうたん島」の愛称で親しまれる蓬莱島。大槌湾にぽっかりと浮かぶ小さな島は、周辺の岬や断崖をなす白い岩石と同じ中生代白亜紀の花こう岩できています。

源水川 (湧水) とイトヨ生息地



大槌町の中心部である大槌川と小鎗川に挟まれた町方地区には、170箇所もの自噴井 (じふんせい) があります。また大槌川支流の源水川は淡水型イトヨの県内唯一の生息地として知られています。

浪板海岸



海からの波が寄せては返さない「片寄せ波」で知られる浪板海岸。遠浅で波の力が緩衝されやすいことや、寄せた波が粗い砂の間に吸われてしまうことで返す波がないように見えます。

大槌駅観光交流施設が完成



来月から運行開始

大槌駅観光交流施設が完成し、2月1日 (金)、落成式が行われました。

建物のデザインは、平成29年8月に行われた大槌駅デザイン総選挙において、住民の皆さんなどに選ばれた「ひょうたん島」がモチーフとなっており、ひょうたん型の大きな屋根が目になります。屋根の下には、ルーフトラスが配置されており、ホームに停まる車両や景色を眺めることができます。

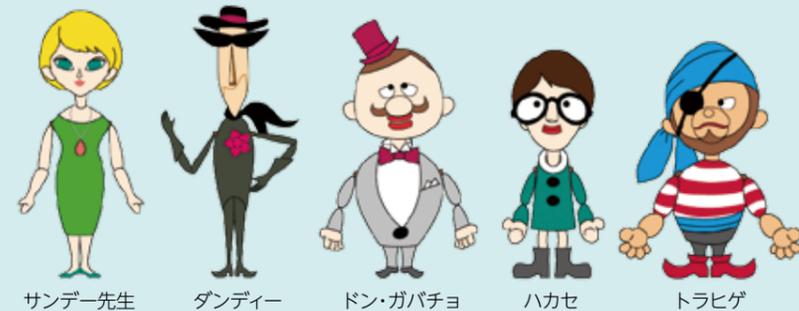
鉄道の一般運行開始は3月24日 (日) からとなりますが、1月末から、三陸鉄道の車両による試験運行が行われていて、今後徐々にスピードを上げながら試験が行われる予定です。本施設は、駅舎機能のほか、観光案内や、飲食店などの利便施設が配置される予定で、町の交通ネットワークの中心として、また地域住民の交流の場としての活用が期待されます。

3月23日 (土)、24日 (日) に開業記念イベント！

運行開始の記念式典が行われる3月23日 (土) と、一般運行開始となる24日 (日) には、大槌駅開業を記念したイベントを開催します。「ひょうたん島」のテーマ曲による列車の出迎えや、ステージイベント、出店など、盛りだくさんの内容となる予定です。詳細は広報3月号などでお知らせします。

大槌駅でドン・ガバチョたちに会える！

駅の敷地内には、各所に「ひょうたん島」のキャラクターが設置されます。駅の開業とともにお披露目され、立体人形や、建物にデザインされたキャラクターに出会うことができます。



©I/Y・H・NEP

